



ありがとうございました



Winter always turns to spring.

どんな冬もいつか終わる。そして、春は必ずやって来る ハル・ポーランド

本校ホームページ
QRコード

校門の桜のつぼみがふくらみ、1輪2輪と花が咲き出しました。

令和3年度が終わります。この1年間、保護者や地域の皆様方には、本当にお世話になりました。紙面からではありますが御礼を申し上げます。ありがとうございました。

思えば、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校が始まった令和2年度末。約2ヶ月の休校期間を終えて始まった学校生活も、修学旅行や自然学校の中止など、たくさんの制約がありました。

今年度は、4月当初より、「できないことで悩んだり、根拠のない自主規制を思案する」のではなく、「現実的な感染症予防策に最善を尽くしつつ、できることに精一杯取り組んで、豊かな学びを子どもたちに提供しよう」の合い言葉の下、職員一丸となって取り組んで参りました。しかしながら、世界中の多くの関係者の努力にもかかわらず、その後も感染拡大の第4波、第5波、第6波があり、それに伴う規制のため本校も数多くの予定変更や計画の中止を余儀なくされ、保護者や地域の皆様にご迷惑をおかけしたと思います。

そのような中、本校の子どもたちは、与えられた条件の下で、柔軟で元気に前向きに授業や学校行事などに臨み、落ち着いた学校生活を築き上げてきました。例えば、1年ぶりに開催された運動会では、6年生がリーダーシップを発揮し、全校児童が一体となって感動を分かち合いました。5年生の係活動の動きにも目を見張るものがありました。また、その直後に実施された修学旅行においても、みんなで協力して和やかに楽しく平和や歴史の学習を進めました。5年生の自然学校は期間を短縮して実施されましたが、持ち前の行動力と団結力で、時間の過ぎるのを忘れるような楽しく「濃い」3日間となりました。4年生は、授業でプレゼンテーションやディベート、ディスカッションの「ワザ」を磨きあえるようになりました。3年生は、体験的な学習や外部講師を招いての授業など、キャリア教育や「リアル重視の学び」など先進的な取組を積極的に行える学年に成長。1、2年生は授業や家庭での学びのスタイルを身につけて主体的で対話的な学びを進めていく素地を養いました。

ICT(主にタブレット)の活用では、全学年でリモート学習を実施することが可能となっています。すでに本校では、家庭と教室をつなぐ学びが実現しています。

それら総ての教育活動において、保護者の皆様のご支援や地域の方々のご協力があったことは言うまでもありません。来年度は、コロナが収束していれば幸いです。たとえ制約が続いていても、できることに精一杯取り組んで、豊かな学びを子どもたちに提供していく鈴原小学校の姿勢は変わりません。これからも本校の教育活動へのご支援やご協力、よろしく申し上げます。

【えっ？子どもに魚を与えてはいけない？】



ある人に魚を一匹与えれば、その人は一日食べる。

魚の取り方を教えれば、その人は一生を通して食べる。

老子(思想家)

子どもに何かを与えるとき、本当に価値あるものを与えたいときは、ノウハウを与えましょう。

なぜなら、ものやお金を与えても、使ってしまうばなくなってしまい、また欠乏状態を招くからです。

でも、ノウハウを教えてあげて、相手が、たとえば魚のとり方をマスターすれば、その人は、一生食べていけます。

例えば、何かを上げるときに、答えやモノを簡単に与えるのではなく、解き方や手に入れ方を身につけさせてあげることです。もちろん、実践に役に立つノウハウでないと意味はありません。その人が、その方法を使って、何かを得ることができるようになるノウハウです。「教える」「一緒に考える」ということは、そういう意味で、とても尊いのです。

ノウハウを、知識を、どんどん与えましょう。与えることで、相手は豊かになります。

子どものことを本当に考えるなら、生きたノウハウ、方法、やり方を一緒に考え、教えてあげましょう。

学校評価アンケート結果について

	対象	質問項目		肯定		否定		中間評価	総回答数
				あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	どちらとも言えない等	
1	児童	「授業はわかりやすく楽しい。」	回答数	117	46	9	3		175
			回答率	66.9%	26.3%	5.1%	1.7%		
2		「先生は、教え方にいろいろと工夫している。」	回答数	62	60	37	16		175
			回答率	35.4%	34.3%	21.1%	9.1%		
3		「自分を大切にすることや、他の人への思いやりについて教えてもらっている。」	回答数	121	42	10	2		175
			回答率	69.1%	24.0%	5.7%	1.1%		
4	保護者	「学校は保護者の願いに応えている。」	回答数	74	90	17	3		184
			回答率	40.2%	48.9%	9.2%	1.6%		
5		「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている。」	回答数	49	110	22	3		184
			回答率	26.6%	59.8%	12.0%	1.6%		

記述欄

○人手が足りていないのではと感じることがあります。担任を持たれている先生へのご負担が大きく、ご心労が心配です。子どもがケガをしたり、物が壊れたり、そういうことが防げる様な体制を整えて頂きたいとかんじています。
○小学校の校内トイレが汚い(黄ばみ等)がすごく気になります。
○トイレを綺麗にしてほしいです。

本年度、「学校評価アンケート」結果より主な項目やご意見を抜粋したものです。

課題としては、

- 1 今回よりICTを活用した回答方法となったこともあり、回答数が少ないこと
- 2 肯定的回答が多数を占めるが、否定的回答も多く、今後の学校運営や授業の在り方を改善していく必要があること
- 3 学校の取組について、保護者への理解促進や周知徹底が図られておらず、情報発信がさらに必要と思われることなどが考えられます。

これらの結果を基にした改善方策を来年度の学校運営方針に盛り込み、さらに子どもたちにとって「豊かな学び」の得られる学校への進化を図ります。